



■タイMFU大学の視察（地下水涵養）をサポート（6/24）

くまもと未来ネットでは、昨年に引き続きタイMFU大学からの視察をサポートする事になりました。朝からの大雨の中、白川中流域の実際の涵養田（ニンジン農家大田黒さん）で説明を受け現地の状況を認識いただき、その後、おおきく土地改良区の会議室でプレゼンと模型で湛水事業の説明、質疑応答が行われました。

午後から少し雨も小降りとなり、地下水涵養事業に参加しているソニーセミコンダクタマニュファクチャリングさんを訪問し、設備管理者への訪問と質疑が行われました。会議後に玄関口ビエの地下水涵養関連パネルなどの見学も行われました。

その後、水資源の最上流である草原の状況について、阿蘇グリーンストックさんへご案内し、英語版の事業説明Videoを観て担当者からの説明と質疑が行われました。

盛りだくさんな学び（情報量）だったと思いますが、タイの環境保護・持続可能な地域づくりへ役立てば幸いです。

（宮北、大住、井上）

<https://kumamoto-mirai.com/interim-support-project/124-mfu.html>



■宮城からの半導体企業進出地（熊本）視察をサポート（7/15）

宮城県（熊本と同様に国策での半導体企業誘致で）現地の学校法人の代表者より、「半導体企業進出先進地としての状況を知りたい」とのご連絡があり、現地確認をサポートしました。TSMC工場周辺（TSMC第1工場、第2工場予定地、SONY第1工場、第2工場建設中）、地下水涵養の最上流であり、冬期湛水を始めた瀬田地区、地下水路を辿りながら、下流の湧水地帯（サントリ工場、嘉島の湧水プール、浮島さん）を、ご説明しながら巡りました。（その後、宮城県への計画は中止となりました）

（井上）

<https://kumamoto-mirai.com/interim-support-project/125-7-15.html>



■韓国「忠清南道持続可能協議会」の視察へ対応（8/22）

熊本県と韓国の忠清南道とは姉妹都市であり、「忠清南道持続可能協議会」は、韓国でSDGs的な活動をする市民団体の協議会です。“持続可能な（SDGsに沿う）街づくり”が視察のテーマという事でした。旧環境ネットワークくまもと時代に、数年間、視察や教育ツアーをお互いに実施していた経過もあり、私たちともう一団体「くまもとSDGs推進財団」とで、午後から以下のプログラムを組んで対応しました。（宮瀬）

- ・熊本の地下水の保全活動（井上理事）：くまもと未来ネット
- ・フェアトレード推進活動（明石理事）：くまもと未来ネット
- ・アライグマ防除活動（歌岡理事）：くまもと未来ネット
- ・SDGs財団の活動紹介と基金：くまもとSDGs推進財団
- ・質疑応答：全体で

<https://kumamoto-mirai.com/interim-support-project/127-8-22.html>



■「持続可能なアライグマ防除のしくみづくり」 2023年度県の防除研修の実施、次世代箱型わな



近年、九州北部の各県（長崎・佐賀・福岡・大分）では外来生物アライグマによる農業被害が拡大しており、防除対策も進めていますが、それらは必ずしも有効とはいえない状況です。くまもと未来ネットは、これまで警笛を鳴らしながら熊本県内各所への周知を行ってきました。県内でも捕獲や出没の確認情報が確実に増加しており、熊本県では、2024年5月には「外来生物防除の指針」を発表し、より具体的なアライグマ防除対策の取り組みを進めています。これからがまさにアライグマ対策の正念場であり、今後の取り組み次第で、熊本が誇る農作物の未来が決まると考えます。



当NPOでは、17期（熊本県としては2023年度）も熊本県のアライグマ防除研修事業を受託し、これまで国内で多くのアライグマ防除の成功事例を積み重ねてこられた川道美枝子先生（関西生物研究所所長）を講師に招き、県南地域（11/6芦北町）県北地域（11/7菊池市）で研修を実施しました。

また今年度は、今後に向けての新たな提案として「巣箱型わな」実験を、熊本市環境政策課（アライグマ担当行政）、熊本工業高木工部（わな作成）、大分市（わな設計）と連携して進めています。巣箱に入ろうとするアライグマの習性を利用することで、通常必要とされる餌が不要なメンテナンスフリーを実現した画期的な箱わなです。

さらに今年度も、大学生インターンシップ事業（NPO法人ドットジェイピー）からの学生の派遣を受け、以下の研修を行いました。（歌岡）

- 2/16（金） 第1回 身近な外来生物観察江津湖ティラピア
- 2/22（木） 第2回 アライグマ竹筒センサー作り
- 2/29（木） 第3回 発表会プレゼン資料調べ
- 3/15（金） 第4回 第56回研修会に向けて準備
- 3/21（木） 第5回 熊本市アライグマ防除研修会（植木）
- 3/22（金） 第6回 熊本市アライグマ防除研修会（河内）



■ 記念日やくつろぎや語らいの時に、フェアトレード商品を選ぼう

バレンタインデーにはデパートの売り場は百花繚乱、甘い香りと様々な商品が並びます。コロナや地震・紛争と重たい課題が続きますが、様々な記念日やいつものくつろぎや語らいの時間、SDGsに沿ったフェアトレード商品を手にとってみませんか？



※各記事のSDGs指標は代表的なものを表示、他にも多くが該当します。

バレンタインデーの主役であるチョコレートの原料・カカオ豆の生産量が最も多いのはコートジボワールで、ガーナ、インドネシア、ナイジェリア、エクアドルと続きます。これらは発展途上国であり、その取引の多くは、生産者に対して適正な金額が支払われていないのが実態です。コーヒー、紅茶、バナナなどの食品や、コットン、花、サッカーボールなども同様な問題が指摘されています。

これらの問題を解決しようとしたのが、フェアトレードです。フェアトレードは、直訳をするとならば「公平・公正な貿易」です。途上国の生産者や労働者の生活改善と自立を目指し、途上国と適正な価格と対等な関係で継続的に取引することです。

フェアトレード商品を探すためには「国際フェアトレード認証ラベル」が表示されているかを確認する方法が確実です。フェアトレードの推進を方針にしているお店を選ぶのも良いですね。

<お問い合わせ>

フェアトレードシティくまもと推進委員会事務局

熊本市中央区新屋敷1-9-7（フェアトレード・ラブランド内）

Tel: 080-3084-7093(代表:明石) Mail: ftc.kumamoto@gmail.com

フェアトレードラベル



原料の生産、輸出入、加工、製造工程すべてにおいて基準が守られていることが証明します。

国際フェアトレード認証製品であることを証明するラベル

■ 給水スポットの再調査と子飼商店街（店舗）への展開

「水Do!（スイドウ）」は、ペットボトルなどの使い捨て飲料容器の使用を減らし、水道水の飲用、「水の域産域消」を推進することにより、環境負荷の低減と地域の水資源保全、人にやさしく潤いのあるまちづくりを促進するキャンペーンです。（<https://www.refill-japan.org/>）未来ネットは地域団体として参加しています。今期は、学生のインターンを進めているNPO法人ドットジェイピー（<https://www.dot-jp.or.jp/>）より、本事業への参加を得て、熊本市の給水スポットの再調査や、若者や住民が集まる「子飼町商店街」に給水スポットを設置する活動を行いました。以下は参加学生さんの活動報告からです。（大住）



「私たちは、ペットボトルを減らすことを目的に、持参した水がなくなった時に給水してもらえる場所や店舗を調べることにしました。最初に水道局で公共施設の給水スポットについて教えていただきました。熊本市には無印良品が展開している給水機やその他の給水スポットがあり、12か所の常温と冷水が出る給水スポットがありました。是非ペットボトルや水筒に水を入れて、飲んでください。また、子飼商店街に水を提供して下さるお店を探しに行きました。「麩屋 氏助（ふやうじすけ）」さんと「上妻食品店」さんの2店舗が快く提供して下さることになりました。一度覗いてみてください」

子飼商店街の店舗案内 <https://www.kokai-s.com/店舗紹介>



■ 「みなまた甘夏おひさま発電所」を老朽化のため撤去しました

くまもと未来ネットは、旧環境ネットワークくまもと時代から、気候変動抑制の活動として「市民共同発電所」の設置に継続して取り組み、第1号の北部病院屋上（2004年4月）から2014年の第8号、火の君文化センター屋上（熊本市の公共施設の屋根貸し事業）まで支援・設置をしてきました。

通算第4号の発電所「みなまた甘夏おひさま発電所」（10kW）は、福田農場様の加工工場の屋根をお借りしました。（長期のご支援をありがとうございました）2010年3月の設置から2024年3月まで14年間、問題なく稼働を続けましたが、FITを終え老朽化が進んだため、2024年3月30日に撤去を実施しました。

この発電所では、尚絨大学教授で熊本大学名誉教授（当時）の石原修氏より、大学で実験・計測を行っていたパネルの譲渡を受け、専門家の指導の下、市民がワークショップで一部作業を行いました。設置した太陽光パネルは、シャープ1986年製が90枚、京セラ1991年製78枚です。シャープ製は38年が経過し、京セラ製は33年が経過しています。PVパネルが如何に長い寿命を持つかを示しています。

また、「みなまた甘夏おひさま発電所」の廃パネルは、熊本（九州）で考えられる環境負荷の少ない処分業者を選び処分（再資源化）を行いました。撤去状況とパネルリサイクル工場視察の詳細は、上記のURLからご参照下さい。（原、井上）



- ◆ 「みなまた甘夏おひさま発電所」を老朽化のため撤去しました

<https://kumamoto-mirai.com/energy-projects/115-2024-05-04-06-03-58.html>

- ◆ 廃パネル処理（再資源化）工程を確認しました

<https://kumamoto-mirai.com/energy-projects/116-2024-05-04-06-36-31.html>

■九州電力の出力制御について

くまもと未来ネットでは、電力会社の出力制御を問題視してきました。様々な問題のある原子力発電や石炭火力発電を優先し、再生可能エネルギーを制御するのは、環境負荷として、また、SDGs（持続可能な社会）としても問題があると考えています。

2024年5月にオンラインで開催された自然エネルギー市民の会のセミナーでは「2023年度は22年度に比べ約7倍に増加し、出力制御（廃棄）された電力量は17.6億kWh、約41万世帯の年間消費量にもなり、家庭の平均電力料金の475億円分に相当する」との事でした。エネルギー資源を海外に頼る日本としては、とんでもない状態であると認識しています。この問題が今後どうなっていくのか注視して行きます。



■蔵書の中から重複本を中心に寄贈を行いました

蔵書を役立てるため、地域の図書館や古書店への寄贈を行いました。他にご要望があれば、ご連絡をお願い致します。（事務局）

- ・古書店カライモブックスへ水俣関連を中心に寄贈 <https://karaimobooks.stores.jp/>
- ・南阿蘇図書館LOOPへ環境関連全般を寄贈 <https://minamiaso.info/spot/loop/>

■編集後記（事務局の活動から）

◆期末ギリギリのタイミングとなりましたが、事務所を移転しました。下記および記事をご参照下さい。移転に際して、かんくま時代からの過去の資料も法人の基準（NPO法人の基準はありませんので一般の法人）に準拠して、約10年（伝票類）を目安に整理しました。懐かしい多くの資料を見て振り返りの機会にもなりました。歌岡理事、旧事務所をお貸し頂き、ありがとうございました。

◆法人としての事務を担当理事として対応して来ましたが、所有する太陽光発電施設（2カ所）の設置費用の借入返済を終え、若干の活動経費の確保は可能となりましたので、業務の一部の委託したいと考えています。また、事務局は宮瀬理事との2名体制になりました。（井上）

（移転のお知らせ）<https://kumamoto-mirai.com/news/129-2024-10-07-04-55-27.html>

ご支援・ご協力をありがとうございます（2023.10～2024.9）

【正会員】

（個人）松崎武則、手嶋敬、中村潤三、坂本講一、鎌田聡、小椋清市、梅原尚佳、朱永徳、吉住眞、菅野隆明、松野信夫、鳥崎一郎、田上辰也、山口久臣、中元啓夫、大住和子、歌岡宏信、中地重晴、明石祥子

（法人・団体）（医）原武会 北部病院、（社）熊本県保険医協会、（医）秋津レークタウンクリニック、（医）相禮会山下歯科

【賛助会員】

（個人）永村一泰、田中利和、草野龍二、愛甲三朗、菊水正博、備後由喜江、勝連弘務、中村博子、真次寛、沼津秀樹、鬼海洋一、平野みどり、田北成樹、中田哲也、渡辺利男、立山ちづ子、松生由紀子

（法人・団体）熊本県労働者福祉協議会、（公財）阿蘇グリーンストック、（有）熊本装新、よもぎ薬局、白井工業（株）

【維持会員】九州太陽電池工業、宇野昭彦、原育美、宮北隆志、宮瀬美津子、井上智 ※敬称は省略しております。

寄付・会費等のお支払いは以下の口座へよろしくお願い致します。

肥後銀行 味噌天神支店 普通預金 1495574 NPO法人くまもと未来ネット
郵便振替 記号01930-4 番号60756 NPO法人くまもと未来ネット



QRコード

【発行】2024年11月

〒862-0962

熊本県熊本市南区田迎5丁目7-6 EL.SOCIO（エルソシオ）ビル

TEL 096-202-2525（変わりました）/ FAX 096-200-6395

E-mail : home@kumamoto-mirai.com

Web Site : <https://kumamoto-mirai.com>